

省エネ・地域パートナーシップ 令和8年度取組方針・活動計画の策定について

当行は、パートナー金融機関として参画している「省エネ・地域パートナーシップ」において、令和8年度を取組方針および活動計画を以下のとおり策定しましたので、お知らせいたします。本年度も、国や省エネ支援機関などのパートナーとの連携を一層強化し、地域およびお客さまの脱炭素化を支援する取り組みをさらに推進してまいります。

【令和8年度取組方針・活動計画】

1. 中小企業等の省エネを推進するための取組方針		
<p>当行が所属する九州フィナンシャルグループでは、サステナビリティ優先課題として SDGs・脱炭素化を挙げている。その一環として、地域の SDGs・脱炭素化に対する意識醸成を目的に、主に熊本県内の中小企業を対象としたセミナーの開催やお客さまとの対話の強化、CO₂排出量算定システムおよびコンサルティングの提供を行っている。</p> <p>本年度は、昨年度に引き続き、ビジネスマッチングやコンサルティングを通じた省エネ支援に加え、省エネ支援機関との連携を強化することで、お客さまの脱炭素化や省エネの促進を目指す。また、当行が開発した CO₂排出量算定システム「炭削くん」の利用者に向け、システム内にて省エネに関するソリューションの紹介を行い、省エネ支援に取り組んでいく。</p>		
2. 中小企業等の省エネの推進にあたった実施する事項		
(1) 省エネ診断の推進		
2026年度 KPI：省エネ診断を紹介し受診する企業の数		20件
目標の達成に向けて行う取組		
① 支援体制強化	KPI の設定	脱炭素普及啓発促進に向けたアドバイザー育成 ※脱炭素アドバイザー取得
	専任担当者の配置	サステナビリティ推進部に省エネ担当者を継続2名配置
	支店・営業店への研修の実施	脱炭素アドバイザー取得を目指し、動画教材を行員へ提供
	その他の取組	CO ₂ 排出量算定システム「炭削くん」の中で、削減シミュレーション機能を実装し、省エネに関するソリューション紹介
② 省エネ支援機関連携	機関との意見交換会の実施	省エネ支援機関が提供している支援内容をヒアリングし、解決策の質向上を図る
	顧客のトスアップ	CO ₂ 排出量算定システム「炭削くん」を通じて、顧客のトスアップを行い、同行訪問を実施
	顧客向けイベントの開催	支援機関等と連携し、中小企業向けセミナーを開催し、省エネ診断の効果や成功事例を紹介

(2) 省エネ診断後のフォローアップ		
2026年度 KPI：省エネ診断後に省エネの取組みを実現した企業数		10 件
目標の達成に向けて行う取組		
中小企業の省エネ取組支援	省エネ診断時に同席	希望があれば、省エネ診断時に同席。 また、報告会同席時は、省エネ効果等について確認
	提案内容の実施状況確認	診断後の取組状況を確認し、適宜フォローを実施
	省エネ設備導入計画の策定支援	設備投資案件については、概算見積・回収年数を参考に、省エネ設備導入計画の策定支援を実施
	省エネ補助金等支援策の活用支援	必要な見積・効果算定等を支援機関と連携し、補助金等の申請支援を実施
	ソリューション企業とのビジネスマッチング	ビジネスマッチングについては CO ₂ 排出量算定ツール「炭削くん」の活用により対応
	その他の取組	省エネ診断を契機に CO ₂ 排出量算定ツール「炭削くん」やサステナビリティファイナンスの提案等、既存支援メニューと組み合わせワンストップで顧客支援を実施

3. 定量的な目標件数		
(1) 省エネ支援策等の紹介をする中小企業等向けのセミナー・説明会の実施回数		10 回
(2) 個別面談による課題解決に向けた提案等により、省エネ対策の実施企業数		300 件

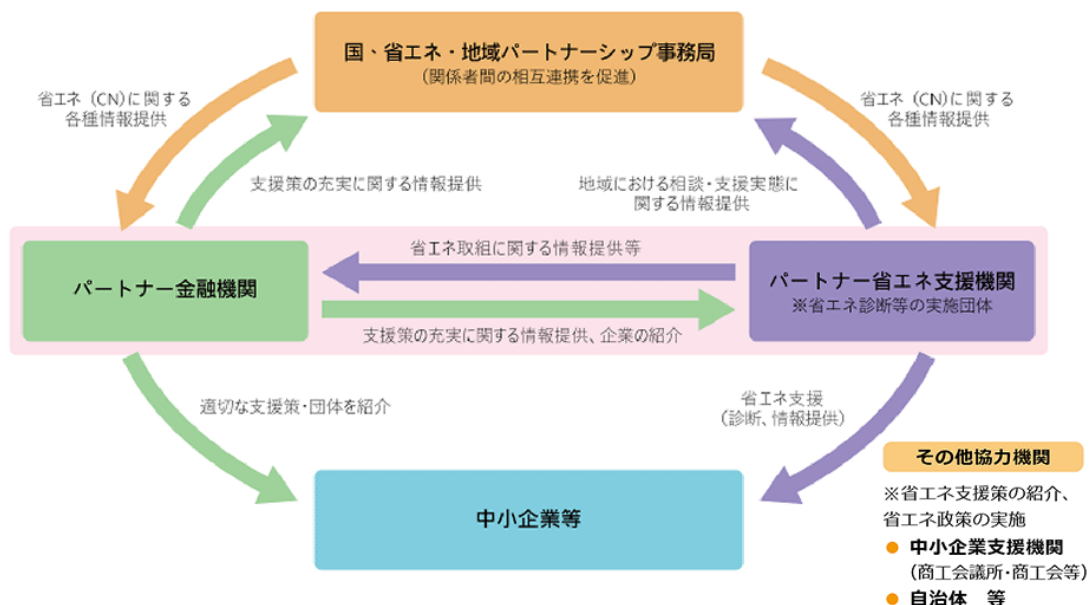
※掲載項目については、経済産業省資源エネルギー庁が定める計画書より抜粋したもの

以 上

ご参考

省エネ・地域パートナーシップとは、地域で中小企業等の省エネを支援する体制を構築するために、資源エネルギー庁が立ち上げた枠組みです。この取り組みには、200 を超える金融機関や省エネ支援機関が参加しており、省エネ政策や活動に関する情報提供や意見交換を通じて、地域全体で中小企業の省エネを支援しています。

省エネ・地域パートナーシップのイメージ図



《本件に関するお問い合わせ》
肥後銀行 サステナビリティ推進部
担当：玉木・内田
電話番号：096-326-8699